

2022 年 度 事 業 報 告 書

I 事 業 の 概 要

1. 遠山記念館の維持運営

- ・遠山記念館の維持運営については、従来の方針を踏襲した。

2. 美術品、その他資料の収集、保管並びに一般公開

(1) 美術品、その他資料の収集、保管

(イ) 寄 贈

- ・村山 太郎 様 「白紵子地四季花に几帳模様打掛」「白麻地水辺に藤・桜・撫子模様帷子」「紫曙染縮緬地水辺に鷺・撫子・八重桜模様打掛」「浅黄地鴉に帆掛け船模様刺繍掛下帯」「抽象花文様綴織剥ぎ合わせカシミアショール」 計 5 件
- ・山本 象成 様 「白志野茶碗」 計 1 件

(2) 美術品、その他資料の一般公開

(イ) 展 観 の 日 程

回	期 間	展 観 名	展 観 内 容
1	4月2日(土) ～5月29日(日)	テーマ展 源頼朝の時代 平治物語と源平合戦	NHK 大河ドラマ「鎌倉殿の13人」に関連し、館蔵の作品の中から重要文化財の源頼朝「消息」、土佐派の優れた作例である「源平武者絵」などを展示した。また原本がバラバラにカットされている「六波羅合戦巻」等を再現した狩野養長「平治物語絵巻(摸本)」に加え、個人蔵の原本の断簡をあわせて公開した。
2	6月11日(土) ～9月25日(日)	コレクション展	今回は遠山記念館の「円文様ガラスカット碗」をはじめとする中近東コレクションの名品を中心に展示した。また2022年は当館創設者・遠山元一の没後50年にあたるため、橋本明治による元一の肖像画、また元一が長女貞子のために誂えた小袖類などを展示した。
3	10月8日(土) ～11月27日(日)	特別展 江森天寿と石川梅子 夭折の画家と県内初の 女流画家	埼玉県深谷市出身の日本画家江森天寿は、文展などで活躍した後、結核により38歳の若さで早世した。またその妻である石川梅子も、天寿に師事して絵画活動を行っている。今回はこの二人に焦点を当て、当館に寄贈された作品を中心に秀作を展示した。
4	12月10日(土)～ 1月29日(日)	テーマ展 不思議?なるほど! 古代アンデス工芸 の魅力	ペルー、ボリビアを中心として様々な文化が開花した南米アンデス地方、そこから出土した土器や染織等を通じ、当時の宗教観や身の回りの自然、生活の様子を紹介した。また近年寄贈されたアンデス作品の中から、優品を紹介した。

回	期 間	展 観 名	展 観 内 容
5	2月11日(土)～ 3月12日(日)	テーマ展 雛の世界	江戸～明治時代の名工の雛人形などを中心に、江戸時代中期から昭和時代中期頃までの様々種類の人形を、日本の人形の歴史をたどる形で展示した。また桃の節句に因み、呉春「武陵桃源図絵巻」(重要美術品)の6mにわたる大画面を、全場面公開した。

(注) 休館日 ・定例休館日 毎週月曜日(当日が祝祭日の場合は翌日)
・展示替期間
・年末年始 12月21日～1月5日

(ロ) 開館状況

- ① 開館日数 296日
② 入館者数 6,662人

(単位：人)

区 分	今年度	前年度	増減差
大 人	3,302	3,277	+25
学 生	128	160	-32
団 体	433	108	+325
※他	2,799	2,361	+438
合 計	6,662	5,906	+756

※他 招待、小人、優待、無料、YFC・県教委・障害者

- ③ 入館料収入 (単位：円)

今年度	前年度	増減差
4,514,780	3,870,340	+644,440

(3) 収蔵作品の保存修復活動

フォンターナ《空間概念 自然》ワックスがけ等 ブロンズ工房 (11月2日)
「ミレフィオリ・ガラス杯」 工房いにしへ (12月21日～)

(4) 収蔵作品の新規評価活動

該当事項なし

3. 展示等に関連する講演会、教育普及関連の催事の開催

(1) 展示関連の催物、ワークショップ、ギャラリートーク等

4月29日（金・祝） 特別講座（ZOOM開催）「平治物語絵巻と合戦絵の系譜」

講師：土屋貴裕氏（東京国立博物館）

5月7日（土） 土曜講座（ZOOM開催）「頼朝の時代の文化と美術」

10月9日（日） 特別講座（ZOOM開催）記念講演会「江森天寿と石川梅子—好子がのこした物語」

講師：佐藤道信（東京藝術大学教授）

1月14日（土） オンラインギャラリートーク

2月18日（土） 地域子ども教室

(2) 投扇興を楽しむ会

新型コロナウイルス感染対策として中止

(3) 遠山邸 2階の特別公開

新型コロナウイルス感染対策として中止

4. その他目的を達成するために必要な事業

(1) 博物館実習の受託

新型コロナウイルス感染対策として中止

(2) 美術品の貸出協力

	貸出先	展覧会名	貸出期間	貸出作品
1	三重県立美術館	岡田米山人・半江	9月23日～11月6日	1.岡田米山人「仙客談古図」 2.岡田半江「米法散水図」 3.岡田半江「春靄起鴉図」
2	飯田市美術博物館	城下町飯田と飯田藩	9月23日～11月30日	1.「青磁香炉 銘 浦千鳥」
3	埼玉県立近代美術館	桃源郷通行許可証	10月22日～1月29日	1.山本梅逸「青緑桃源図」
4	昭和女子大学光葉博物館	江戸の名門料亭八百善 その食と文化	10月25日～11月26日	1.松平不昧「達磨図」 2.鈴木其一「鍾馗図」 3.「懐石道具」
5	サントリ美術館	木米	2月8日～3月26日	1.青木木米「雲出山腰図」
6	茨城県近代美術館	速水御舟	2月21日～3月26日	1.速水御舟「遊魚」 2.速水御舟「牡丹」 3.速水御舟「朝顔」 4.速水御舟「塩原溪流」

(3) 助成金、奨学金の支払い

(イ) 遠山記念館芸術・学術等助成金として、「埼玉県文化振興基金」に100万円を拠出した。

また、公募申請の結果、3名（太田垣 至氏：歴史的ピアノ修復家・復元楽器作家、後藤 秀聖氏：原爆の図丸木美術館、建畠 哲氏：埼玉県立近代美術館）に各25万円支払った。

(ロ) 遠山記念館留学生奨学金として、「埼玉県グローバル人材育成基金」に100万円拠出した。

(ハ) 遠山記念館障害者のための文化芸術振興助成金として、「埼玉県シラコバト長寿社会福祉基金」に100万円拠出した。

5. 学芸員による主な研究活動

(1) 口頭発表

依田徹「茶の湯文化学会東京例会 小浜藩主酒井忠義の茶道具蒐集」(7月2日)

(2) 外部講座等

依田徹「常葉芸文センター講座 茶掛となった巻物—佐竹本三十六歌仙絵を中心に—」(6月21日)

依田徹「昭和女子大学光葉博物館シンポジウム 特別展「江戸の食と文化について現代の視点から考える」本展監修者による展覧会趣旨と見どころの説明」(11月2日)

久保木彰一「非常勤講師(日本美術史担当)」(大東文化大学)

依田徹「非常勤講師(茶道史担当)」(昭和女子大学)

依田徹「非常勤講師(物の文化史担当)」(学習院女子大学)

依田徹「文化審議会文化財分科会 第六専門調査会委員(生活文化、食文化担当)」(文化庁)

依田徹「文化創造アナリスト(盆栽に関する調査報告担当)」(文化庁)

松村久代「さいたま市岩槻人形博物館人形資料等選考評価委員会委員」(さいたま市)

松村久代「さいたま市岩槻人形博物館運営委員会委員長」(さいたま市)

松村久代「さいたま市盆栽美術館資料等選考評価委員」(さいたま市)

松村久代「非常勤講師(博物館実習・博物館展示論・博物館情報・メディア論担当)」(跡見学園女子大学)

(3) 刊行物等

依田徹「藤田傳三郎モノがたり：生涯とコレクション(大特集 リニューアル記念 茶と美の殿堂、藤田美術館へ)」『なごみ』508、4月

依田徹「琉球由来の茶道具(大特集 沖縄復帰五十年記念 琉球の工芸と茶)」『なごみ』511、7月

依田徹「書評 木津宗詮著『目利き：谷松屋八代戸田露吟覚書』」『茶の湯文化学』38、8月

依田徹「茶会記に見る今泉雄作の交友関係——『記事珠』の記述を中心に——」『五浦論叢』29、茨城大学、12月

依田徹「小林永濯「彩画略法」について」『國華』1528、2月

依田徹「懷石新書」『淡交』956～、2月～

依田徹「大聖寺藩主前田利鬯の茶：維新前後の茶道界、また能楽との関係について」『茶の湯文化学』39、茶の湯文化学会、3月

※「事業報告の内容を補足する重要な事項」(一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項)がないため、事業報告附属明細書は作成しなかった。